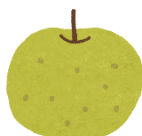


# 患サポ通信

—ささえちゃん便り—

第 92 号



## 新検体検査室「自動化ラボ」運用開始



本学附属病院は、“検体検査業務負荷の軽減”と“検査結果報告時間の短縮”を同時に実現するため、令和元年9月に検体検査新体制構築プロジェクトを始動させ、約2年の歳月を経て、「自動化ラボ」と称される新検体検査室を令和3年9月27日（月）より運用開始いたしました。

これまでの検体検査室をきぼう棟2階から1階へ移設することで、患者さんは受付後、速やかに検体検査室に移動できるよう、分かりやすい動線を確認し、負担軽減につなげています。

新たな検査機器の導入と国内最大級の自動検体搬送システムを統合した「自動化ラボ」の構築により検査結果報告時間の短縮、そして、検査予約制の導入による検査待ち時間の短縮など、患者満足度の向上を図るとともに、メディカルスタッフの検体検査業務負荷の軽減にも結びつけたいと考えております。

### <新検体検査室「自動化ラボ」の主なポイント>

- 1) 国内最大級の自動検体搬送システム導入による自動化ラボの実現
- 2) 検体検査確定までの時間を、現在の所要時間から約半分以下に短縮することにより、外来患者さんの院内滞在時間の短縮
- 3) 自動化により、人の手を介さないことで検査のタイムラグが生じなくなる
- 4) 検体投入から廃棄までを自動化することで、臨床検査技師による検体検査時における開栓時・閉栓時の尿や血液からの感染リスク軽減



自動化ラボ全景



新採血室



中央採血室入口



## 講演会のご案内



### 令和3年度 男女共同参画講演会

日時：2021年12月10日（金）17：30～19：00

場所：ハイブリッド開催

会場（福島医大11号館1階第一臨床講義室） ・ Web（Zoom）

※会場は講堂から変更になっております

参加費：無料 ※受講の際は下記お問い合わせ先へお申し込みください

お問合せ：福島県立医科大学 男女共同参画支援室 Email(gendeqsp@fmu.ac.jp)

福島県立医科大学

令和3年度  
全員参加型FD講習会

会場

Web(Zoom)

ハイブリッド開催

## 男女共同参画講演会

日時・会場

2021年12月10日(金) 17:30-19:00

講堂

講演1

「女性研究者支援」から  
「ダイバーシティ実現で  
北東北の未来を先導」へ  
～岩手大学男女共同参画の取組から～

講師：菅原 悦子先生(岩手大学名誉教授)



講演2

「ハンセン病の現場に  
レンズを向けて」

講師：浅野 直広 様 (ドキュメンタリー監督)  
パネリスト：下村 健寿教授  
(本学医学部 病態制御薬理医学講座主任)



**対象** 全教職員・大学院生・学部学生  
※本セミナーは、福島県立医科大学大学院共通必修科目(8)に該当します。

**申込** ご所属ごとお取りまとめの上、男女共同参画支援室まで事前にお申し込みください。Web参加の場合は「Zoom希望」と記載の上、男女共同参画支援室にE-mail(gendeqsp@fmu.ac.jp)にてお申し込みください。<期限>12月3日(金)

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp Tel: 024-547-1657(内線: 2807)

HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp>

講演会等のお知らせ

当センターのホームページにも掲載しておりますのでご覧ください

<https://www.fmu.ac.jp/home/renkei/kouenkai.html>

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター

〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL:024-547-1885(直通) Email:tourokui@fmu.ac.jp